



Recommended calling QRGs: 7.026/7.028, 10.118/10.138, 14.058, 18.085, 21.058/21.138, 24.918, 28.058/28.158

FEA Net: 7.026 MHz 2300UTC on Saturdays, 14.054 MHz 0800UTC on Sundays

Newsletter Editor, FEA Net Manager: Nao JO3HPM (jo3hpm@fists-ea.org)

Membership Secretary: Jean JL3SIK (join-fea@fists-ea.org)

Web administrator, QSL Manager, Newsletter E-mail Distributor: Harry JL3AMK (webadmin@fists-ea.org)

FISTS members can receive the morsEAsia via e-mail. Please email the web admin with your FISTS#.

Other members of administration: Sugi JK7UST & Manabu JE1RZR

<http://www.feacw.net/> or <http://www.fists-ea.org/> (Secondary)

APPENDIX FOR JAPANESE

Articles posted in Japanese were translated to English by the editors. This appendix is the collection of the original Japanese articles.

日本語付録

日本語で投稿された原稿は編集部で英語へ意識して掲載しました。ここでは日本語原稿を掲載します。

TOMO JF1LXO #15122

みなさん、こんにちは。今年の10月にFISTSに入会いたしました武士田善友 YOSHITOMO “TOMO” BUSHIDAと申します。私は昭和34年生まれで、最初の開局は昭和47年でした。開局から就職でQRTするまでの数年間は、50 MhzのDXこそが全てであり不眠不休？の運用をしていました。もちろんその間にはFMモードでのローカル・ラグチューなども毎晩楽しむ生活でした。

当時はCWというのはNEWをゲットするための手段であり、欧文・和文にかかわらずCWでラグチューをするなどということは考えた事ありませんでした。また、TVIも花盛りで、随分とご近所に迷惑を掛けた苦い思い出もあります。

QRTをしてから30年の歳月が流れます。その間は仕事、結婚、出産など様々なイベントが目白押しでしたので無線を再開するなど考えもしませんでした。ところが偶然、書店で見つけたCQ誌を手にとって読んだことが、無線再開の契機となりました。残念ながら以前のコールサインは既に他人のものになっていましたので心機一転のコールサインで開局しました。再開局当時は昔の延長でDXを追いかけていましたが、ある日ふと物足りなさを感じます。599 BK や59で終わるQSOに飽きてしまったのかもしれない。

そして一大奮起？して今から1年半前に和文モース習得を目指しました。だいぶ苦労しましたが、和文にも慣れラグチューが出来るようになった頃、和文で出会う方の中で欧文チャットの練習に励む方がいることに気が付きました。私自身は学生自体から現在まで一貫した劣等感として、英語が出来ないという悩みを抱えていました。(単に勉強しなかっただけです・・・hi)

もしかしたら欧文チャットを目指すことでCWの楽しみを増やすと同時に英語の壁も多少は乗り越えることが出来るかもしれない・・・そのような目標を掲げてオンエアしています。

まだ、チャットというレベルには程遠くラバースタンプ + α ではありますが、このFISTSというクラブを通じて皆様との出会いを楽しみにしております。

最後に、わたしは昔のリグたちと縦振れ電鍵が好きで、これらを使ってオンエアすることが多いです。QRHもありますが優しく見守ってください(笑)

73 & FB DX

TUBO JL8KUS #15033

皆さんこんにちは。#15033 JL8KUS 壺内と申します。私は 2004 年に開局。当初から CW にメインにして運用していました。初めは CW の符号もほとんど受信できず、ようやくコールサインを取れるくらいの受信力しかありませんでしたが、皆さんの指導を受け、何とかラバースタンプ位は支障なく交信できるようになりました。

その後 4 年間程、CW での運用を楽しんでいましたが、ラバースタンプしか出来なかったのが段々と呼ばれることが少なくなり、また、交信済みの局がほとんど私からコールも出来ずにいたので、その頃から和文を覚えて数局やってみたことはありましたが、様々な事情が重なってアマチュア無線を止めてしまったので、折角覚えた和文もほとんど身に付くことなく忘れ去られていきました。

昨年(2011 年)の夏のある日のこと。たまたま BCL をやってみようと車の中で短波帯をワッチして楽しんでいたのですが、各バンドの海外放送を聴いていた時、たまたま 7MHz の放送バンドよりも下まで受信したときに CW が聞こえてきたので、少し耳を澄まして聞いてみましたが、コールサインさえも聞き取れない状態になっていました。和文符号は完璧に忘れてしまったので、再度アイウエオ順に符号を覚え直しました。

それから毎日 10 分間ほど和文欧文符号の受信練習を欠かすことなくやっていたところ、欧文符号は少し使えるようになってきたので、今度は 7MHz に出てきて交信してみたものの、かなり緊張して手が汗でグショグショになっていました。和文はまだ交信できるような状態ではなかったので暫く保留。秋も深まってきた頃に、ようやく和文の交信も始めてみました。

今年に入ってから主には和文の交信に力を注いできましたが、春頃に、たまたま交信中に簡単な英単語を送りあって楽しんでいたら、欧文でもラグチューが出来そうな気がしてきました。それでもその後も暫くは和文中心でしたが、秋の気配を感じ始めた頃から、毎朝モービルで電波を出して欧文を中心に交信することにしました。お相手して下さった中に欧文ラグチューに挑戦している局があり、毎朝のように欧文チャットを楽しんでいました。その後も和文で知り合った局の中から、欧文チャットのお相手をしてくれる局が数局出てきて、今でも楽しませていただいています。

今現在、国内の交信では、平日はほとんど欧文の交信が聞こえてきませんが、私は平日が休みになることも多いので、何人かに話しかけて、出てこれる日には欧文で出るようにしています。それでもほとんど呼ばれることはないのですが、そんな日は和文局にお相手していただいています。国内の欧文局が極端に少なくなったことに少し危機感を覚えています。

(函館市の和文局とアイボール。私は一番右です)

特集:電鍵

KIYO JA2DNA #6038

メインキーはベンチャーです。購入は相当前ですので型式も忘れました。ベンチャーキーの使用感は、ほぼ満足します。時々ミスもありますが、それは運用者の加齢によるものです。製番は無しです。また、横にあるミニキーは 3 年ほど前に、QRPP 送信機の記事を投稿したときに CQ 出版経由で GHD 社から頂きました。運用には使ったことは無いのですが、デモンストレーション時に使います。

接点の接触不良防止のため、接点には気を使ってクリーニングを時々行っています。クリーニング方法は昔から、接点に鉛筆の芯で擦り付ける方法です。接触抵抗が数十オームあっても、エレキヤーのスレッシュホールド値としては低い値ですから、問題無しです。

そういえば、14 歳で開局し今年で開局 50 周年です。CW 運用のおかげで長い間、ハムライフが続けられます。

SUGI JK7UST #7178

GHD 社 GD107WS Bug-Key:すでに廃盤の Key ですが、逸品ですので紹介します。フォトカプラーを使用しているの
で、バグキー特有のかすれがありません。打った感じはエレキーに近いものがあります。古典的なバグキーを愛好され
る方には不評かもしれませんが、私のようなバグキー初心者には打ちやすい Key です。

先日 GHD の社長と話をする機会がありました。バグキーは 1 年に 1 台売れるか売れないかという状態なので、製作を
やめたそうです。時代の趨勢とはいえ、さびしいものです。

KAZ JA2BCQ #8959

私のコレクションの中では珍品と言えるかと思っています。HI-MOUND の HSK-910 という電鍵で、横ぶれ用のもので
す。横型電鍵ではなくて、縦のものが横になっています。しかし、これを普通の縦ぶれ電鍵として使うこともできるよう、
基台がに2面についています。この電鍵としては正式ではない縦ぶれ用の置き方をした方が構造はよく分かります。

AMA JI3SBA #15115

私の key です。メインは streight key です Ameco AM-K4 です。J-38 風です。つまみは変えています。もうひとつは、
パドルです。K8RA の P-2 です。どちらも円高の恩恵です。適当にトリミングしていただければ幸いです。パドルのほう
はあまりうまく使えませんので稼働率が低いですが、プラスがきれいです。ストレートキーは最近いつも移動で使って
います。

TOMO JF1LXO #15122

みなさん、こんにちは。当局が常用し、とても気に入っている電鍵たちをご紹介します。

ハイモンド HK802:私はこの電鍵で縦振れの世界に入りました。初心者のせい、どうもプロの方やベテランの方が
好まれる「固め」で「カンカン」という打鍵音の電鍵は使いこなせませんhi
この電鍵はピアノ線？の反動スプリングと板バネを使用した接点という独特の構造を持っており指先に伝わる感触や
打鍵音が私の好みにも良く合っており、一生使いたいと思っています。

STAMPFL:最近、雑誌等でも紹介されているようですがスイス軍仕様の電鍵の復刻版のようです。
最初はそのデザインと「色」に惹かれて購入したものです。最近、製造元より改良パーツの提供も受け、ますます感触
が向上いたしました。
この電鍵も接点独特の構造で、打鍵音も静かで今では手放せない電鍵です。

Speed-X Model500 バグキー:このキーは最近、入手いたしました。バイプロともちょっと違った感じのバグキーです。
海外オークションではなぜかスピードXのキーはタマ数も多く、とても安く入手できます。
私自身、バグキーは練習中にして、ひと目(一聴して)でバグとわかる符号が出てしまいます(笑)
いまは縦振れとの切替機に接続して、お相手のキーや気分を使い分けています。

私は縦振れ自体を使うようになったのは、今年の5月の連休からで、それまではエレキーだけでした。
ところが最近ではパイルを呼ぶ高速スクイズが出来なくなっていましたhi
その日の体調や晩酌の前後で符号が変わる？手打ちキーが大好きです。

MASA JJ1IZW #15026

写真1枚で電鍵1つでということですがあえて、2連装のを送ります。何故なら、私は、このように 左側が HK-808 右側に HK-1S(HK-1Zではありません、1Zの前身のものです)を常時セットアップしてあり いつでも 両方使えるようにしています。HK-1Zは結構持っている人は多いと思いますが私のHK-1Sは 1Zに比べてレアなんじゃないかな?と思っています。そして、HK-808は縦での高速打ち用に、HK-1Sは 低速から中速用にセッティングしてあります。長時間、縦でのオペレートするには この2つのセッティングのキーで いつでも変えられるようにすると 非常に安定かつコンテストでも威力を発揮するものだと確信して このように2連装にしております。

MASUMI JA3AVO #15029

Bencher JA-1:メインに使ってます。

絆:A1-Club 企画の二刀流 key。目下飾りです。

Begali Traveler Light:もっぱら“Dx-vacation”に使ってます。

MK-33:文字通りポケットに入るパドル。モバイルで使うことが多いです。

TUBO JL8KUS #15033

GHD 社 GM701:モバイルで使用している。小型でタッチにはメリハリがあり使いやすい。運用していない場合は、頑丈なアルミケースの中に、パドルの羽を収納しておけるのが良い。

GHD 社 GN607A:自宅で運用するときのメインキー。これもメリハリがはっきりしていてとても打ちやすい。

GHD 社 GN807KIT:これは Skype で CW の交信練習をするときに使用している。打ちやすいが、カチカチと少し打鍵音が大きい。

STAMPFL SN-Z-016:打鍵音はコトコトといった感じで静か。深夜でも周りに迷惑がかからない。とても打ちやすく、特に和文交信で使用している。ルックスも良く、大変気に入っている。

HI-MOUND HK-808:打鍵の感覚は、カキーンカキーンといった感じで、符号が正確に出せる。ガチャガチャと音が大きいので、昼間向き。

VIZ KEY The 90 Degree VIZBUG:ツマミとシャフトの角度が90度になっているユニークなバグキー。ゆっくりした符号から、速い符号まで速度調節ができる範囲が広い。ただいま練習中で、いずれはメインキーになりそうな予感がする。